

教科・科目（講座名）	日本の伝統・文化 表現活動	履修区分	2学年	必修選択	2単位
教科書・副教材等	自主開発教材	教科担当	吉田 浩		

学習の到達目標	1 和太鼓に親しみ、基礎的な演奏技術を習得する。 2 集団で演奏することにより、他者と共感し自己肯定感を培う。 3 コミュニケーションの力や生きる意欲を高める。
---------	--

学期	月	学習内容	進捗状況	アキルスタンダード	評価の観点	配当時間
一学期	4	オリエンテーション 和太鼓の歴史・特徴 和太鼓基礎練習		和太鼓に関する基礎知識を理解できたか。	関心・意欲・態度 知識・理解	6
	5	和太鼓基礎練習		基本の演奏技術を修得できたか。	技能・表現	8
	6	演奏練習		演奏の方法を理解できたか。 意欲的に練習に取り組むことができたか。	知識・理解 関心・意欲・態度	8
	7	演奏練習		演奏の技術の上達は見られたか。	技能・表現	6
二学期	9	演奏練習		演奏をするための心構えや技術を修得できたか。	関心・意欲・態度 技能・表現	8
	10	演奏練習		お互いの良い点を発見できたか。	関心・意欲・態度	8
	11	演奏練習		息を合わせて演奏することでチームワークの大切さを知ることができたか。	関心・意欲・態度 思考・判断	8
	12	発表練習		お互いの良いところを指摘しあうことができたか。	関心・意欲・態度 知識・理解	5
三学期	1	発表練習		人前に立つ緊張感を味わうことができたか。	関心・意欲・態度 思考・判断	8
	2	発表練習		今までに習得した演奏技術を使って、発表作品を仕上げることができたか。	技能・表現 知識・理解	8
	3	発表と鑑賞		他者の発表を真摯な態度で聴きくことで、お互いのことを尊重しあえたか。	関心・意欲・態度 思考・判断	5

\*評価：A（十分に達成できた）、B（おおむね達成できた）、C（不十分であるが達成できた）、D（達成できなかった）

\*評価材料の重みづけ：出欠状況、授業態度・発表の様子・毎時の振り返りシートを4：3：3の割合で評価する。